

血液ガス分析装置システム

試薬仕様書

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立循環器・呼吸器病センター

## 1. 趣旨

埼玉県立循環器・呼吸器病センターで使用する血液ガス分析装置に使用する試薬の一括入札を行う

## 2. 入札

- 2.1 契約（購入・使用）する試薬は、血液ガス分析装置と同一メーカーであること。
- 2.2 血液ガス分析装置 1 年間の試薬費の総価であること。
- 2.3 試薬単位は現行機器より算出したものであり、年間総数（別表 1）と同等になるよう、新機器に対応した各社毎の試薬単位で再集計すること。

## 3. 契約期間

- 3.1 試薬の契約期間は、令和 7 年 8 月 1 日から令和 14 年 7 月 31 日までとする。
- 3.2 市場価格に著しい変動がある場合を除き、分析装置の使用期間中は毎年度、同単価で単価契約を締結すること。
- 3.3 機器および試薬ともにセットアップにかかる期間の作業及び費用は落札者の負担とする。
- 3.4 契約期間前に機器を設置し、試薬をセットアップした上で、オンラインによるデータの管理、データの正確性・安定性などを確保すること。
- 3.5 試薬ランニングデータは紙・電子データで提供すること

## 4. 項目

- 4.1 血液ガス分析装置における検査項目は分析装置仕様書に示す通りとする。

## 5. 検査件数

- 5.1 入札の積算根拠となる想定件数は 年間 60,000 件とする。なお、想定件数は R7 年度の子測件数であり、契約予定年度内の増減は見込んでいない。

## 6. 試薬種別

- 6.1 入札対象は試薬の他に分析装置の測定・精度維持管理のための標準物質・精度管理試料・洗浄液等も含むこと。
- 6.2 契約にあたり、試薬容量は分析件数を勘案の上、期限切れなどが起こりにくい容量とすること。
- 6.3 試薬は機器に対応した専用カートリッジであること。また、バーコード等による自動ロット管理、正確な残テスト数の表示が可能であること。

- 6.4 標準物質・精度管理試料の表示値が、バーコードの読み取り等で登録できること。  
また、分析装置や一括管理システム側で表示値・精度管理状況が確認できること。
- 6.5 機器に対して試薬の各種試験等が行われており、各データの検証が十分に行われ、データの保証が確実であること。
- 6.6 機器のバージョンアップに迅速に対応できること。
- 6.7 データ不良やエラー発生時に、試薬と機器のどちらに起因しているかを解明する場合、メーカーの学術・技術サポートを迅速に受けることができ、早期の解決が可能であること。
- 6.8 メーカー主催等の外部精度管理調査においては、機器・試薬の組み合わせが同じ母集団を多く有した、正当な評価を得ることができること。

## 7. 供給体制

- 7.1 落札しようとする事業者は、当センターに迅速に対応できる供給拠点もしくは営業拠点を持つこと。
- 7.2 災害時などを含む試薬欠品時の対応として、二重化された供給体制を持つこと。

## 8. 契約について

- 8.1 落札者は入札時に設定したメーカー、試薬、価格において単価契約を結ぶこと。
- 8.2 使用機器と互換性を有する試薬等において、新規項目の開発・精度向上などの事情で新規試薬の契約が発生した場合は、当入札時と同等の割引率で契約を行うこと。